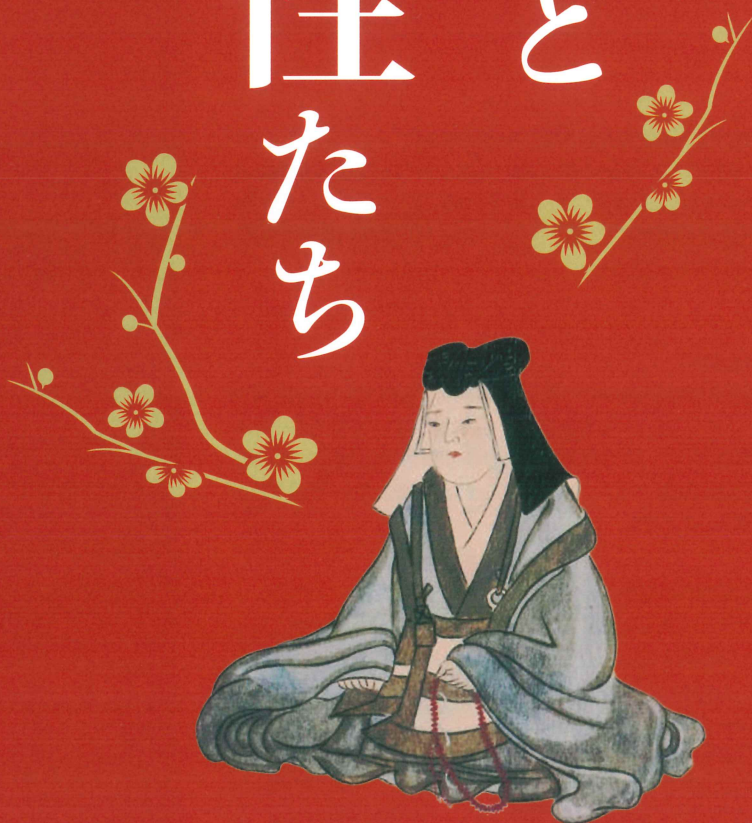


時を超えて響く、
禅を生きた女性たちの物語――

禅宗と 女性たち



2025年度
禅宗法式
シンポジウム

2026年3月13日(金) 13時00分～15時30分
会場:花園大学返照館100 定員150名/会費無料



中国の婆子と尼僧
野口善敬
花園大学国際禅学研究所所長・
臨済宗妙心寺派宗務総長



中世日本曹洞宗における
女性たち
小西洋子
金沢大学客員研究員



室町期の臨済宗における
女性たち:一休とその周辺に
みえる比丘尼の動向を例に
飯島孝良
花園大学国際禅学研究所副所長

花園大学国際禅学研究所

詳しくはホームページをご覧ください。

共催:臨済宗妙心寺派教化センター/公益財団法人禅文化研究所

協力:曹洞宗総合研究センター



禅宗と女性たち



2026年
3月13日(金)
13時00分～15時30分

お申込先

花園大学
国際禅学研究所

TEL 075-823-0585
MAIL kokuze@hanazono.ac.jp
HP <http://iris.hanazono.ac.jp>

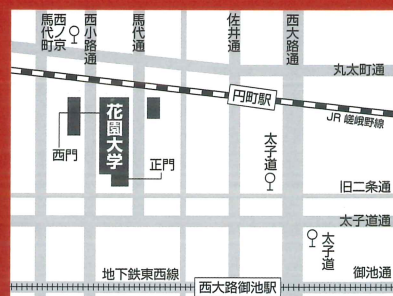
右の二次元コードよりお申し込みください。
くわしくはホームページをご覧ください。



会場

花園大学返照館100

〒604-8456
京都府京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1
[アクセス]
JR 嵯峨野線「円町駅」から徒歩 8 分
市バス 26・205「太子道」から徒歩 8 分



花園大学国際禅学研究所は、禅宗における法式について個別的なテーマを設定し、専門家の先生方に詳細を語って頂いてまいりました。近年のテーマとしては、「美術と行事からみる黄檗禅の伝来」(2022 年度)、「袈裟・伝法衣を考える」(2023 年度)などを開催し、専門・非専門を問わず、多くの方がたに御参集頂くことができました。とくに昨年(2024 年度)は「禅宗における尼僧」とし、近世の比丘尼御所(貴族の娘であった出家者が住職を務める尼寺)について、曹洞宗の尼僧について、臨済宗(とくに白隠門下)の尼僧について、それぞれ御専門の先生方に御提題頂き、御参加者も通常よりも倍増し、御関心の高さを強く実感するものとなりました。

今年度のテーマも、昨年度に引き続き「禅宗における女性たち」とし、中国の禅宗における婆子や尼僧の動向、中世日本の曹洞宗に出入りした女性たち、或いは室町期の臨済宗における比丘尼の在り方についてなど、その歴史上の姿を詳しくさぐっていくことと致しました。これまで十分に探究されてこなかった禅宗における女性たちについて、多くの方がたに知って頂く貴重な場となるものと考えております。是非とも御参集の程を宜しくお願い致します。

〈講師プロフィール〉



野口善敬 (花園大学国際禅学研究所所長・臨済宗妙心寺派宗務総長)

九州大学大学院修士課程修了。博士(文学・東洋大学)。現在、臨済宗妙心寺派長性寺住職、花園大学教授、花園大学国際禅学研究所所長、臨済宗妙心寺派宗務総長。主な著作に、『訳註・清初僧諍記』(中国書店)、『元代禅宗史研究』『ナムカラタンノの世界』『禅門陀羅尼の世界』『開甘露門の世界』(以上、禅文化研究所)など多数。



小西洋子 (金沢大学客員研究員)

金沢大学大学院人間社会環境研究科博士課程修了。博士論文「師僧と檀那尼の中世史：禅宗寺院と地域社会」で博士(文学)。現在、金沢大学客員研究員。主な論文に、「能登国永光寺の尼と中世在地社会」(『女性史学』第26号)、「中世村落寺院における尼僧の存在意義—加賀国長福寺の事例より」(『総合女性史研究』第35号)、「中世禅宗史研究とジェンダー：曹洞宗登山派を中心に」(『歴史学研究』第80号)ほか多数。



飯島孝良 (花園大学国際禅学研究所副所長)

上智大学外国語学部卒、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。主な著作に、『語られ続ける一休像—戦後思想史からみる禅文化の諸相』(ペリカン社)。主な共著に、『別冊太陽 一休』(平凡社)、『近代の仏教思想と日本主義』(法蔵館)、『若冲画賛』(朝日新聞出版)など。主な論文に、「大拙における禅思想史観と「日本」の位置—「業繋苦」と「靈覚」への問いとして」(『国際禅研究』第6号)、「室町期における「禅文化」はどうみられてきたか—戦前から戦後における文化史観の変遷をたどって—」(『禅学研究』第101号)、「一休の実像へのアプローチ—その伝法意識をめぐって」(『季刊禅文化』第275号)、「一休像の展開と受容—森女との関係を軸に—」(『日本仏教総合研究』第23号)など多数。

当日特別価格販売

季刊 禅文化

269号
2023.7



禅に興味をお持ちの方のための教養誌。特集やグラビア、連載など、毎号さまざまなコンテンツを掲載しています。WEBでのご注文は右上の二次元コードから。バックナンバーもご購入が可能です。

禅文化



2023
269号
「一休の禅と文学」の巻

定価 1,320円(税込) A5変形/平均170頁/禅文化研究所 編

269号特集：無外如大生誕800年 禅の尼僧

■偉大なる禅尼 無外如大 ～生誕800年よせて～/江上正道 ■日本中世の禅宗と尼僧/原田正俊 ■中世後期の尼寺—尼五山とその周辺/山家浩樹 ■近世日本における禅宗の尼僧/竹下ルツェリ・アンナ ■尼僧による信仰と美術/中村玲 ■無外如大の法灯 ～尼となった皇女・公家の息女たち～/美馬弘 ■「不生」が繋ぐ庵主の心 駆け込み寺に今生を懸ける/松山照紀 ■グラビア 禅寺に伝わるものごたり「女性と仏教」解説/本多潤子 ほか

最新号も内容充実です!

2026年1月号

279号特集では「白隠フォーラムin宇和島」を誌上再現!